

第3回プラン策定会議（平成28年11月29日）議論のまとめ

1 知事挨拶

会議の冒頭に、知事から以下のような発言がありました。

- 東京2020大会と更にその先の東京をどのように大きく育て、輝かせていくのか、そのためのプラン策定会議である。
- 政策の計画的な展開を示す工程表についても検討を進めているが、これらをベースにして、東京の成長戦略の方向性と2020年を超えた「Beyond2020」などの全体像についての意見交換をお願いしたい。
- できるだけ都民の皆様と共にプランを練っていくために「みんなで東京の未来を創りましょう」というメッセージを投げかけたところ、497人（速報値）の方々からご意見を頂いた。高校生の皆様からもご意見を頂いており、みんなで創りあげていくプランにしていきたい。
- 今日も徹底して都民ファーストの視点で議論していきたい。具体的な道筋を都民の皆様にご理解いただけるような発信をしていきたい。

2 プランの構成案と特徴について

事務局から、資料1に基づいてプランの構成案を説明しました。そして、プランの特徴として、以下の3点を説明しました。

- ①都民ファーストの視点で3つのシティを実現し、新しい東京をつくる
- ②東京が日本の成長のエンジンとして、サステイナブル、持続可能な成長に向けて、「東京の成長戦略」の大きな方向性を提示する
- ③科学技術の進歩や個人の意識の大きな変化などを通した明るい東京の未来像の一端を描く

3 3つのシティの主要政策と分野横断的な政策について

事務局から、「セーフシティ」「ダイバーシティ」「スマートシティ」の3つのシティにおける主要政策について、主な政策目標、取組、4か年の工程表の検討状況を説明しました。また、分野横断的な政策として、東京2020大会の成功に向けた取組と多摩・島しょの振興の検討状況を説明しました。

議論では、3つのシティに盛り込む政策分野や事業を整理し、シティ別・項目別の事業費を算出することで、実行プランで前向きな取組を行っていくことを明確にすべきとの意見がありました。また、最終的な公表物のイメージやボリュームなどについて確認しました。

プランに記載する事業を着実に進めていけるように所管局を明確にしておくこと、今後更に政策の内容を研ぎ澄ましてプランの目玉となる項目を打ち出していくことなどについて意見がありました。

4 「東京の成長戦略の方向性」「Beyond2020～東京の未来に向けて～」について

事務局から、東京 2020 大会以降の持続的な成長に向け、東京の成長戦略の方向性を実行プランで提示していくことを説明しました。

また、実行プランの検討においては、2020 年の更にその先に目を向け、平成 27 年国勢調査の結果を基にした人口推計を実施しました。平成 26 年 12 月に策定した「東京都長期ビジョン」において、人口のピークは 2020 年と推計していましたが、今回の推計では 2025 年の 1,398 万人がピークとなり、5 年後ろ倒しになることを説明しました。

さらに、明るい東京の未来の一端である、「Beyond2020～東京の未来に向けて～」を描いていくことを説明しました。

議論では、成長の基礎となる持続可能な社会保障制度、「Beyond2020～東京の未来に向けて～」で描く未来像と 4 か年の政策展開との関係、検討中である 2040 年代を視野に入れた都市づくりのグランドデザインと連携を図ることなどについて意見がありました。

5 都民からの意見募集の状況について

11 月 11 日から 11 月 25 日まで実施した都民からの意見募集では、497 人の方から 1,662 件（速報値）のご意見を頂いたことを報告しました。

最後に知事から、今後の人口動態を考えた上で東京がどのようにして日本の成長のエンジンであり続けるのかということは大きな命題であること、実行プランの取組は各局が明確な目標を持って定期的なチェックができるようにすること、各局連携のもとに最終公表に向けた作業を進めてほしいとの発言がありました。